

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2018年4月10日

東京都作業部会確認 2018年4月17日

事業名 オリンピックアクアティクスセンターの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ整備の工事発注について(オリンピックアクアティクスセンター)

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担 パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく） 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備 水泳競技会場の施設 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 競技会場は、都の恒設施設を活用。 施設面積は、各 FA 及び IF、OBS 等との協議結果に基づく。 コストコンサルタントが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価により積算 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 予算に収まる。 IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 V2 予算内 	

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2018年4月10日

東京都作業部会確認 2018年4月17日

事業名 東京辰巳国際水泳場の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ整備の工事発注について(東京辰巳国際水泳場)

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担 ・パラ経費は該当なし 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 ・整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備 ・水泳競技会場の施設 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会場は、都の恒設施設を活用。 ・施設面積は、各 FA 及び IF、OBS 等との協議結果に基づく。 ・コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ・予算内に収まる。 ・IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考え。 ・V2 予算内 	

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2018年4月10日

東京都作業部会確認 2018年4月17日

事業名 横浜スタジアムの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ整備の工事発注について(横浜スタジアム)

確認の視点	組織委員会の見解	備考	
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠合意のとおり、当該事業は都外会場における「仮設等のインフラ整備」 ・プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都負担 ・パラ経費は該当なし 		
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠合意において、オーバーレイ、仮設等のインフラ整備は組織委員会が担う ・会場を把握している組織委員会が、一元的に整備を進めることで、コストを含め、IOC の意見を反映した施設整備が可能 		
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックで求められている要件に基づいた会場整備 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・既存会場を使用 ・国内外サプライヤーからの見積りをコストコンサルにより精査した単価設定を行っている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ・予算内に収まる。 ・IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意で公費負担とされた、横浜市所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考える。 ・V2 予算内 		

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2018年4月10日

東京都作業部会確認 2018年4月17日

事業名 馬事公苑の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ整備の工事発注について(馬事公苑)

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意の通り、当該事業は会場関係の「オーバーレイ及び仮設等のインフラの整備」 ・オリ経費は、民間の整備として組織委員会負担・ ・パラ経費は、組織委員会、都、国が2：1：1で分担 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラ及び仮設の整備を実施する役割は、組織委員会が担う 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・馬術会場に求められる最低限の諸室、面積での整備 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・馬術会場整備に最低限の諸室、面積を整備 ・東京都積算基準・単価を基に積算 ・JRA 恒設施設を活用した効率的な会場計画 ・設計・工事の規模を精査し、観客席 14000 席より 9300 席と変更 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ・馬事公苑の敷地規模、JRA 恒設施設等の状況を踏まえた会場計画 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意で公費負担とされたパラ開催経費を構成するパラ競技会場の施設整備であり、公費負担の対象として適切と考える ・V2 予算内 	